

海外安全対策情報（2017年1月～3月分）

在ユジノサハリンスク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

当地は政治的には安定しており、現在のところ治安情勢に悪影響を及ぼすような反政府勢力等の動きは特段見られない。一昨年8月に当地市裁判所がイスラム教経典コーランの解説書籍に関し、同書籍を過激主義的資料と認定し、当地に居住するイスラム教信者が反発する状況が生じたが、その後、州裁判所が市裁判所の認定を破棄し、問題は収束した。

他方、当地ではサハリン州が北方領土を事実上「管轄」していることから、北方領土問題に対し、ロシアの他の地域と比較して極めて過敏な反応を示す傾向があり、例年2月7日（我が国では北方領土の日）或いは、その日に前後して当館建物前において、北方領土返還反対団体による抗議集会が行われている。平成27年については、「北方領土の日」に集会は行われなかったものの、11月16日、同月18日に当館建物前等において小規模な抗議集会が行われ、平成28年については、2月11日に当館建物前で北方領土返還反対団体による小規模な抗議集会が行われた。平成29年については、2月7日の「北方領土の日」に、当地の北方領土返還反対団体が、当館建物を訪れ、北方領土返還反対に関する文書等を置いていく事案が発生していることから、今後も引き続き注意を要する。また、一昨年（平成27年）、当地では、第二次大戦終了70周年に関連し、9月2日前後には軍事パレードや「日本軍国主義からのサハリン南部の解放」をテーマに種々の行事が実施され、サハリン州政府主催の国際学術会議においては領土問題に関する対日批判がなされたものの、反日的な集会等の開催は見られなかった。平成28年は、第二次大戦終了記念日に関しては、平穏であったと見受けられた。

なお、当地では現在までのところ、具体的なテロ情報はないものの、中東のほか、欧州地域においても、テロ事件が発生している情勢に鑑みれば、駅、空港等不特定多数の者が集まる場所を訪問する際は、周囲の状況に注意を払う等留意の必要がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 一般的治安情勢に関しては、サハリン州の各地において殺人のほか、高齢者や女性などの弱者を狙った路上強盗、住居不法侵入等による窃盗、あるいは銃器を用いた凶悪犯罪、未成年者も含む女性への婦女暴行、デゾモルヒネ、大麻等の薬物の違法所持・売買事案が後を絶たない状況である。殺人は、飲酒によるトラブルに起因するものが多く発生しているが、金品の強奪を目的としたものも発生している。昨年においては、5月及び8月に、当地を旅行中の邦人が荷物から数分、目を離した隙に現金、旅券等が入ったバックを盗まれる事案、夜間、飲食店で飲酒後、ベンチで休んでいる隙に、現金、携帯電話等を盗まれる事案が発生しており、貴重品の管理及び夜間の外出には注意が必要である。また、過去には当地在留邦人が強盗被害に遭うケースも発生して

おり、引き続き当地治安情勢への留意が必要である。

(2) 治安当局の発表によれば。2016年にサハリン州において、治安当局が認知し、登録された犯罪件数は、12,248件であり、2015年の11,270件と比べ、978件の増加となった。以下の内訳にも記載のとおり、強盗事件の発生が前年の2倍となっているほか、略奪、窃盗事件の発生も前年よりも増加しており、また、2013年2月には、ユジノサハリンスク市内に所在する教会に武装した男1名が侵入して銃を乱射し、2名が死亡、6名が負傷する事件が発生しており、これらの犯罪は在留邦人の生活安全上の直接的な脅威ともなりうるものであり、引き続き、当地の治安情勢は予断を許さない状況が続いている。

(3) 主な犯罪内訳（括弧内は2015年を100%とした比）

ア 殺人及び殺人未遂：57件（69.5%）

イ 重度傷害：160件（82.5%）

ウ 強姦及び強姦未遂：9件（75.0%）

エ 強盗：32件（200%）

オ 略奪：268件（103.5%）

カ 窃盗：4,746件（109.3%）

キ 詐欺：1,168件（140.9%）

ク 粗暴行為：6件（54.5%）

ケ 薬物違法流通：927件（84.7%）

(4) 邦人被害事案

昨年8月に、当地を旅行中の邦人が、夜間、ユジノサハリンスク市内に所在の飲食店で飲酒后、酔いを醒ますため、チャーホフセンター近くの遊歩道に設置のベンチで休憩していたところ、所持していた現金、携帯電話、デジタルカメラを盗まれる事案が発生している。

(5) 邦人以外の被害事案（殺人・強盗等凶悪犯罪の事例）

ア 強盗

本年1月から3月の間、ティモフスク、コルサコフの強盗、強奪事件が発生しており、年配者の居住する家屋を狙った強盗事件、貴金属店を狙った強盗事件が発生しており、その内、貴金属店を狙った強盗事件では、拳銃様の武器を使って店員を脅して貴金属を盗んでいる。

（詳細は、別添事件詳細記事参照）

イ 殺人,過失致死等

本年1月から3月の間,スミルヌイフ, ユジノサハリンスク, コルサコフ, ティモフスク, ポロナイスクで殺人事件が発生し, 知人との間で喧嘩となり, 殺人に発展した事件が発生している。

(詳細は,別添事件詳細記事参照)

ウ 暴行・傷害・強姦等

本年1月から3月の間,ユジノサハリンスク, ポロナイスク, オハ, において暴行, 傷害, 強姦事件が発生しており, 10代の少女が強姦される事件が発生している。

(詳細は,別添事件詳細記事参照)

エ 窃盗等

本年1月から3月の間,サハリン州内の各都市で多数の窃盗事件が発生している。

オ 薬物・銃器・爆発物

本年1月から3月の間,ユジノサハリンスク, コルサコフにおいて, 大規模はハシシオイルの密売事件が発生している。

(詳細は,別添事件詳細記事参照)

3 誘拐・脅迫事件発生状況

該当案件なし

4 日本企業の安全に係る諸問題

特になし

事件詳細記事（当地通信社等の事件記事を引用）

1 強盗

①〔強盗〕 ティモフスク地区において、警察官が、現行犯で強盗を摘発した。1月11日夜、覆面をして斧を持った犯人2名が、ティモフスク地区クラスナヤ・トゥイム村ユビレイナヤ通りに所在する家屋の敷地に侵入した。この際、その家の主婦は、ベランダに居て侵入者を見た。侵入者は、彼女を脅迫し、金を要求した。女性を助けるため、彼女の77歳の夫が来た。容疑者は、男性に斧を振り上げたが、それを避けることができた。彼らの間で格闘となり、その結果、年金受給者が敵対者を打ち負かし、犯人を妻が呼んだ警察の到着まで取り抑えた。もう1人の襲撃者は、事態が彼らの不利に展開しているとみるや、事件現場から逃走し、姿を消した。当直の警察官は、強盗の他の関与者の居場所を特定し、拘束した。容疑者の内の1人の居住地の搜索の際、彼らの犯罪への関与を特定する物的証拠が押収された。刑事事件が提起された。31歳と18歳の容疑者は、拘束された。

②〔強盗〕 2月2日午前10時10分ころ、身元不明男性が、コルサコフ市ソビエツカヤ通り29に所在する貴金属店「ザロタヤ・モザイカ」の店内のショーケースを破壊し、その際、店員を拳銃様の物で脅し、2台の白色商品陳列台にあった長さ50センチの様々な細工が施された金のネックレス55本を盗んだ。

容疑者の特徴：30歳以下の男性、身長175～180センチ、痩せ型、茶色或いは青色の中程度の長さジャンパー、黒色ズボン、黒色のブーツ、黒色の毛糸の帽子、医療用マスクをしている可能性がある。容疑者は、恐らく灰色又は砂色の1987年から1991年製のトヨタタウンエースで逃走した。

2 殺人,過失致死等

①〔殺人〕 サハリン州捜査委員会スミルヌィフ地区捜査課において、1月1日、中央病院救急救命科で、刺された怪我により、この医療機関に収容された18歳のスミルヌィフ居住の男性が亡くなったとの通報を受けた。この犯罪行為の容疑で、17歳の地元在住の男を拘束し、彼に対し、取調官によって、ロシア刑法典の殺人の犯罪の兆候により、刑事事件が提起された。以後、取調官の請求により、彼に対し、勾留下での身柄保全処分措置が選択された。捜査によると、容疑者は、1月1日の深夜、自分の家の近くの通りに居り、その際、彼に、以前、知り合いだった若者達が近づいてきて、彼を地面に倒し、殴った。彼は、建物から人々が出てきたのを利用して、地面から立ち上がり、家に駆け込み、包丁を手に取り、彼から逃げた侮辱者を追跡し始めた。若者達に追いつくことが出来ず、容疑者は、家に戻ると、そこ

で、彼に向かって歩く以前、同じ仲間と交友のあった被害者を見つけた。容疑者は、若者に近づき、足で腹部を蹴り、その後、ナイフを手に取り、それで胸部を刺した。刑事事件捜査が続けられている。

②〔殺人〕サハリン州捜査委員会ネベリスク捜査課に、地元在住女性が33歳の息子の行方不明に関して申告書による申告を行った。捜査の過程で、1月5日午前3時30分ころ、男性は、ネベリスク市ジェレズナダロージナヤ通り61の家屋の近くで発生した不明者達との喧嘩の後、彼らと自動車に乗り、何処かへ走り去ったことが明らかにされた。行方不明者の身分証明書のほか、彼の個人物品、衣服は、居住地で見つかった。近しい親類、友人達、知り合いは、男性の居場所に関する情報を持っていなかった。長期間、家を出るとは、男性は、述べていなかった。上記を考慮して、男性の行方不明に関し、刑事事件が提起された。綿密な捜査活動の結果、犯罪行為に関与している個人が特定された。30歳と40歳のネベリスク居住の男であることが判った。後者は、コルサコフで、港町在住男性をナイフで少なくとも5回刺したことで拘束された。彼らに対し、勾留下での身柄保全処分措置に関する問題が検討されている。捜査によると、1月5日の深夜、アパート建物の入口において、容疑者達と被害者の間で、被害者が12月30日に、容疑者の家を訪れた際、金の指輪を盗んだことで喧嘩となった。喧嘩の過程で、双方が掴み合いの喧嘩を始め、その結果、容疑者達が、被害者に今後の話し合いのため、彼らと出かけることを提案した。同意し、被害者は、容疑者達とともに、自動車に乗り、彼らは、古い墓地に向かった。そして、自動車は、別荘地区でスタックし、そこで、容疑者達は、被害者を自動車から引きずりだし、被害者を手、足及び工具で何度も殴った。男性が、生存の兆しを見せなくなった際、彼らは、遺体を自動車のトランクに積み、ロベツキー峠を越えて運び出し、アニワ地区地域で、遺体を排水渠に投げ捨てた。十分な証拠より、容疑者達は、殺人行為を自供したほか、遺体の所在地を示した。このほか、家の近くで男性との間で発生した喧嘩の目撃者が特定されたほか、金属探知機の支援により、殺人の凶器である工具が発見された。刑事事件捜査が続けられている。

③〔殺人〕1月22日、ユジノサハリンスク内務部の当直において、ユジノサハリンスク市コモソモリスカヤ通りの家屋の1つで、暴力による死の痕跡がある男性の遺体が発見されたとの通報を受けた。現地へ警察官が急行した。49歳の男性が自分アパートで死亡したことが判った。頸部への切り傷により、死亡した。サハリン州内務局刑事課の警察官と市警察警察官との共同の総合的な捜索活動措置の結果、この犯罪を行った個人が特定され、拘束された。彼は、51歳の被害者の知り合いだった。刑事事件が提起された。

④〔殺人〕2月7日、サハリン州捜査委員会ティモフスク地区捜査課において、同地区キーロフ村ポドゴルナヤ通りの家屋の1つで、首に絞扼条のある暴力による死の

兆候が認められる25歳の地元女性の遺体が発見されたとの通報を受けた。この事実に関し、捜査課によって、殺人により刑事事件が提起された。現在、ティモフスク地区捜査課によって、警察と合同で総合的捜査活動及びこの犯罪を行った個人の特定に向けた捜索活動措置が行われている。

- ⑤〔殺人〕2月26日深夜、ポロナISK警察の当直において、ポストーク村のある商店の周辺で男性の遺体が発見されたとの通報を受けた。不明者は、被害者に数箇所のナイフによる負傷を与え、商店の直近に放置した。事件現場に、直ちに機動捜査班が出発した。警察官は、被害者の人定を特定するとともに、彼が、2名の不明男性とともに自動車でバァフルシェフ村からポストーク村に到着していたことが明らかとなった。警察官によって、商店の外側を監視していたカメラの録画映像が押収され、上述の自動車が、住居地帯に入るのが記録されていた。間もなく、被害者と不明者が乗って移動していた自動車は、特定された。刑事課の警察官の追跡により、車の所有者の居場所が明らかにされ、この所業を行った容疑者が特定され今後の捜査活動のため、彼を拘束した。彼は、すでに特に重大な犯罪行為で刑事責任を追及されたことのある46歳のポロナISK在住の男だった。刑事事件が提起され、容疑者は、勾留された。

3 暴行・傷害・強姦等

- ①〔重度傷害〕1月7日、ロシア内務省コルサコフ市内務部に、男性が訪れ、今し方、不明者が、彼を襲い、彼に数箇所のナイフによる傷を負わせたと通報した。警察官は、すぐに、男性に応急処置を行い、救急隊を呼んだ。到着した救急車は、被害者を入院させたが、その前に、男性は、事件の詳細を伝えた。被害者が、妻とともにコルサコフ市ソビエツカヤ通りのアパートの中庭を歩いていた際、彼に、男が近づいてきて、約5箇所にナイフによる傷を負わせ、その後、男は姿を消した。しかし、被害者は、暗闇で犯人の顔を確認することができなかったが、彼は、襲撃には、もしかすると、妻の前の夫が関与しているのではないかと予想した。警察官が、容疑者で登録された自動車を特定した。間もなく、交通警察官が、コルサコフ市から郊外への境界で、走行中の手配車両を止めた。現場に機動捜査班が呼ばれ、交通警察官は、拘束者を引き渡した。容疑者は、ユジノサハリンスクに在住の39歳の男であり、前妻に会うためにコルサコフに来て、拒否されていたことが判った。その後、彼は自動車からナイフを持ちだし、待ち伏せしていた。夫婦が、家から出て、その後、彼らを追跡した。時期を見計らい、彼は、被害者を襲い、その後、凶器を処分し、ユジノサハリンスク方向に出発したが、拘束された。捜査活動の過程で、ロシア刑法典の重大な健康被害への故意の惹起に規定される犯罪の兆候により提起された刑事事件の物的証拠である凶器は押収された。容疑者は拘束され、彼に対する身柄保全処分措置に関する問題が検討されている。

- ②〔重度傷害〕サハリン州捜査委員会ポロナISK市捜査課において、ポロナISK中央病院の救急救命科に身体受傷により搬送された58歳の地元男性が同病院で亡くなったとの通報を受けた。遺体の法医学鑑定により、男性は、額部に負った頭部の外傷、頭蓋損傷の結果、死亡した。この事実に関し、捜査課によってロシア刑法典の重大な健康被害の故意の惹起により刑事事件が提起された。現在、容疑者が特定され、彼らは被害者と同じ寄宿舎に居住していた2名の地元在住の男だった。収集された事件証拠は、鑑定、分析され、今後、容疑者達は、起訴されるだろう。
- ③〔強姦〕サハリン州捜査委員会オハ市捜査課において、16歳の少女への強姦に関する通報を地元在住母親から受けた。この犯罪を行った容疑で、前科がある37歳同市在住の男を拘束した。彼に対し、刑事事件が提起された。彼に対する勾留下での身柄保全処分措置に関する問題が検討されている。捜査によると、2月16日、未成年女性は、自分の母親の知り合いのもとを訪れた。容疑者は、飲酒による酩酊状態にありながら、未成年女性が就寝しているのを利用して、彼女に対し、暴力的な性行為を行った。刑事事件捜査が続けられている。

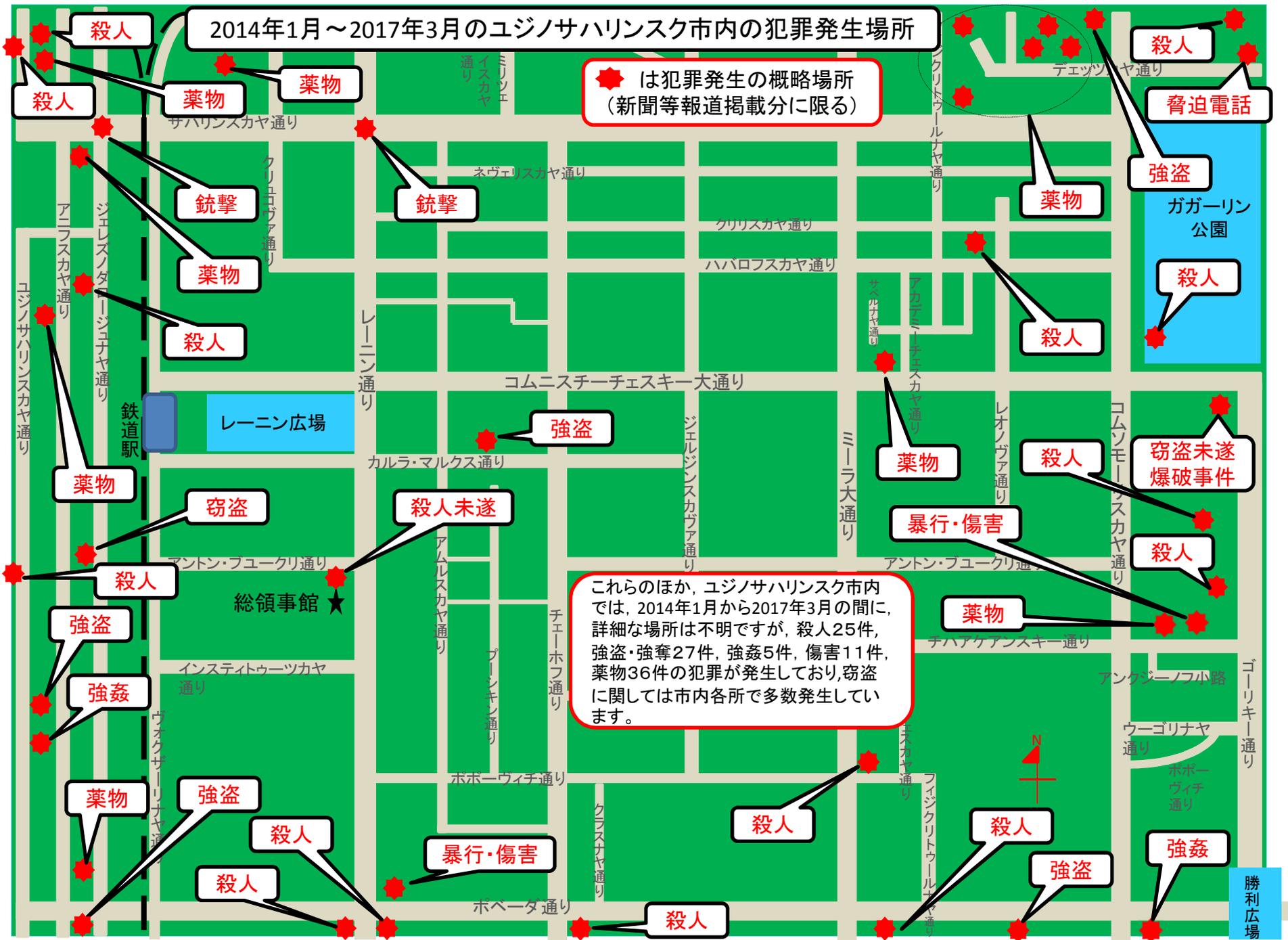
4 薬物・銃器等

〔薬物〕サハリン州内務局流通麻薬対策課の警察官によって、麻薬物質の違法販売容疑でコルサコフ地区の2人の住民が拘束された。捜索活動措置の過程で、警察官達は、最近の数ヶ月間に1988年と1957年生まれの男達が、ユジノサハリンスクとコルサコフの住民にハシシオイルを販売していたことを特定した。1月11日から1月12日の捜査活動の結果、犯人達は、3名の男に流通を禁止されている物質を販売しようとしたところを法擁護機関職員によって、現行犯で拘束された。容疑者が所有する自動車のダッシュボードの中において、警察官は、植物由来の物質で満たされた隠匿された7本の注射器が入ったジュースの箱を発見した。鑑定官は、それをハシシオイルであると確認した。容疑者自身と彼らの顧客達の検査の際、警察官は、同様に衣服のポケットの中から、タバコとハシシオイルの混合物が入った同一の包み（合計12個）を発見した。法擁護機関の捜査活動の結果、全部で140グラム以上の麻薬物質が押収された。それは、大量に相当する。麻薬物質の販売、入手及び保管の事実に関し、ロシア刑法典の麻薬又は向精神薬の違法に製造、取得、所持、運搬、送付若しくは販売により刑事事件が提起された。28歳の容疑者が拘束された。勾留下での彼の身柄保全処分措置に関する問題が検討されている。彼の共犯者及び麻薬物質の違法入手で拘束された者達については、現在地を離れない旨の誓約書へのサインによる身柄保全処分措置が選択された。

2014年1月～2017年3月のユジノサハリンスク市内の犯罪発生場所

★ は犯罪発生の概略場所
(新聞等報道掲載分に限る)

これらのほか、ユジノサハリンスク市内では、2014年1月から2017年3月の間に、詳細な場所は不明ですが、殺人25件、強盗・強奪27件、強姦5件、傷害11件、薬物36件の犯罪が発生しており、窃盗に関しては市内各所で多数発生しています。



勝利広場